

# 災害メモリアルアクションKOBЕ 2021 ～どうすれば人は逃げるのか？～



神戸学院大学 / 現代社会学部 / 社会防災学科 / 安富ゼミ

私たちは災害時に逃げていない人をどうすれば逃げてくれるのかを考えています。「防災意識調査の第一歩」として災害情報には必須である「聞き書き」に注目し、「防災聞き書き隊」を結成しました。

## アンケート

今回平成30年7月豪雨に実際に被害のあった岡山県倉敷市真備町岡田地区と兵庫県神戸市灘区篠原台に右のアンケート用紙を配りました。  
最終的に回答が得られた約200枚回収しました。

### 2018年7月豪雨についてのアンケート

神戸学院大学・社会防災学科3年度防犯防災学専攻です。  
今回、私たちは災害に対する「逃げる」ことの意識調査を行っており、その一環として、アンケートをお願いするものです。

調査結果は関係の1月に開催される「災害メモリアルアクションKOBЕ」にて発表致します。  
よろしくお返事申し上げます。

【Q1】あなたは避難しましたか。

はい いいえ

【Q2】あなたはどこに避難しましたか。

[ ]

【Q3】Q1で「はい」と答えた方は何故逃げたのですか。

「いいえ」と答えた方は何故逃げなかったのですか。

[ ]

【Q4】避難情報は聞いていましたか。聞いていた方はどのような情報ですか。

はい いいえ

[ ]

【Q5】当時、ハザードマップを知っていましたか。

はい いいえ

「はい」の方はハザードマップを確認しましたか。

はい いいえ

アンケートのご回答ありがとうございます。

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 防災聞き書き隊 安富ゼミ一同

## インタビュー

現地に行き、被災された方々の思いや教訓をそのまま聞く「災害エスノグラフィー」を意識してインタビュー調査を行いました。

10月17日と11月28日の2回、岡田地区を訪問し、合計7人に話を聞きました。そこから地域コミュニティの大切さ、住民と住民同士での声掛けなど、地域で災害に強い街づくりを作ることが重要であると学びました。

インタビューにご協力いただいた方々、  
ありがとうございました！



11月21日には篠原台へ2~3人1組になり、実際に被災した5軒の家に、同じくインタビュー調査を行いました。避難経路や避難所等の確認、事前の備え、早期避難の大切さはもちろん、災害時に防災行政無線の街頭スピーカーが、環境音によって聞き取りづらい状況でした。そこから情報を多くの人に伝える手段を考え直す大切さを感じました。



### -----Member-----

教授 安富 信

3年 北村昌卓 青野 柚花 石井 颯 大西 佑奈

覚田 怜 神農 大澄 高村 駿斗 中山 あずさ

中山 翔 三森 悠大 母利 智哉